



「折り方で柄の出方が変わるんですよ。」
折り紙も、お話を聞いていると特別なものに見えてくる。



高浜市やきものの里
かわら美術館
青木町九丁目6-18
☎52-3366
月曜休館
(祝日の場合翌平日)

わたしの楽しみかた
「かわいい」
「素敵」を
さがして



一人で過ごす休日は、カメラをバックに入れて散歩。見慣れた風景のなかに「かわいい」「素敵」を見つけます。鬼のみちをテクテク歩くと、小学生のときから展覧会を見にきていた『かわら美術館』。ミュージアムショップをのぞいてみたら、かわいいグッズをディスプレイ中の、コーディネーターの佐藤奈々さんと出会いました。

「小さな雑貨でも、作家さんがこめた思いを聞くと、自分が考えてもみなかったこと、見過ごしてきたことに気づかされてハッとすることがありますよ。例えば、ここで扱っている、木工作家さん用のスプーン。お店で使い捨てのをもらうんじゃないかと、あえて、木のスプーンで食べると思うと、味わりも違ってくるような(笑)、暮らしが丁寧になるような気がしませんか？それをミュージアムショップに来たお客さんにも伝えられたらいいなって。」

確かに、少し聞いただけでも見え方が変わってくるような気が。お仕事、楽しそうですね。「展覧会にあわせて品物をセレクトし、反響があったらともうれいのです。何かプレゼントを探すなら、かわら美術館のミュージアムショップがいいんじゃない？と言われるようになりたいんです。そんな場所をつくることをめざしています。」と、笑顔の佐藤さん。ひとつひとつストーリーを教えてください、これまでとはちよっと違う視点でかわいいもの探しができるかなと思えたひとときでした。



雑誌社で働いた経験もある佐藤さんに、ディスプレイのことや小物の写真の撮り方のアドバイスをもらいました。「その物の一番かわいく見える角度、後ろに何があったら、より色が映えるかななどをよく見てから撮影するといいですよ。」

